

# 通常総会議事録

- 1. 招集年月日 令和〇〇年〇〇月〇〇日
- 1. 開催日時 令和〇〇年〇〇月〇〇日 午前（後）〇〇時〇〇分
- 1. 開催場所 和歌山県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号 〇〇〇〇会議室
- 1. 理事・監事の数及び出席理事・監事の数並びにその出席方法
  - (1) 理事の数〇〇人、監事の数〇〇人
  - (2) 出席理事の数 〇〇人（本人出席）、出席監事の数 〇〇人（本人出席）
- 1. 組合員数 〇〇人
- 1. 出席組合員数 〇〇人（本人出席〇〇人、委任状出席〇〇人、書面出席〇〇人）
- 1. 出席理事の氏名 〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇
- 1. 出席監事の氏名 〇〇〇〇、〇〇〇〇
- 1. 議長の氏名 〇〇〇〇
- 1. 議事録の作成に係る職務を行った理事の氏名 〇〇〇〇

## 1. 議長選任の経過

定刻に至り司会者〇〇〇〇開会を宣し、本日の総会が定足数を満たしたので有効に成立せる旨を告げ、議長の選任方法を諮ったところ、満場一致をもって〇〇〇〇議長に選任せられ就任した。続いて議長より挨拶の後議案の審議に入る。

## 1. 議事の経過の要領及び議案別の議決の結果

### 第1号議案 令和〇〇年度事業報告及び決算関係書類承認の件

議長は〇〇〇〇をして令和〇〇年度における当組合の事業状況並びに決算関係書類について詳細に報告させた。

次いで監事〇〇〇〇は上記の書類を綿密に調査したところ、いずれも正確かつ適正であることが認められた旨を報告した。

議長よりこれら決算関係書類の承認について議場に諮ったところ、満場異議なくこれを承認した。

### 第2号議案 令和〇〇年度の事業計画及び収支予算設定の件

議長は〇〇〇〇をして令和〇〇年度の収支予算案及び事業計画案を詳細に説明させた後、その可否を議場に諮ったところ、満場一致別冊原案通り可決決定した。

### 第3号議案 役員選挙の件

議長より令和〇〇年〇〇月〇〇日就任の当組合の役員全員が本総会の終結時をもって任期満了するのでこれが改選の必要がある旨を述べその後任者の選出方法を如何にするかを一同に諮りたる所「選挙の方法によるべし」との発言あり、一同これに賛成したので、定款第〇〇条による連記式無記名投票の結果、次の者が当選し、それぞれ本総会終結時をもって就任することを承諾した。

理 事	〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇
	〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇
監 事	〇〇〇〇、〇〇〇〇

以上をもって本日の議案の全部の審議を終了したので議長は閉会を宣した。時に午後〇〇時〇〇分であった。

上記の議事の経過の要領及び結果を明確にするため議長並びに出席理事全員次に記名捺印する。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇〇〇協同組合

※

議 長	理 事	〇	〇	〇	〇
	理 事	〇	〇	〇	〇
	同	〇	〇	〇	〇

後任者の役員の就任時期が「総会開催日の選出時」とであると、「理事・監事の数及び出席理事・監事の数並びにその出席方法」及び「出席理事の氏名」・「出席監事の氏名」は、「新・旧理事及び監事の数」及び「新・旧理事及び監事の氏名」となり、総会議事録に関しても総会に出席した「新・旧理事の記名捺印」が必要となる。

そこで、後任者の就任時期を「総会終結後」にすると、「理事・監事の数及び出席理事・監事の数並びにその出席方法」及び「出席理事の氏名」・「出席監事の氏名」は、「旧理事及び監事の数」及び「旧理事及び監事の氏名」となり、総会に出席した「旧理事の記名捺印」で済み、業務上の手間が省けることになる。

※後任者の就任時期及び総会議事録署名者については（別表）を参照する。

後任者の就任時期が総会終結後の場合で、指名推選と選挙の場合の議事録記載例

### 指名推選の場合

「尚、当選者全員は本総会の終結時をもって就任することを承諾した。」

### 無記名投票の場合

「定款第〇〇条による連記式無記名投票の結果、次の者が当選し、それぞれ本総会の終結時をもって就任することを承諾した。」

※最新の定款参考例に変更した場合、総会議事録に要求されていた「議長及び出席理事の署名（記名押印）」は不要となりましたが、総会議事録に訂正があった場合、対応が困難となる。その場合の対応策として、以下のようにしておくことと便宜である。

上記の議事の経過の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成する。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇〇〇協同組合

議事録作成者	理 事	〇	〇	〇	〇
--------	-----	---	---	---	---